

琴浦町中小企業・小規模企業振興基本計画検討委員会（概要）

と き：令和8年3月27日（金）10：00～

ところ：琴浦町役場 厚生棟2階第4会議室

参加委員：8名出席

1. 第2次計画の概要と基本方針

本検討委員会では、昨年度策定され今年度からスタートした「第2次計画」の進捗状況と、令和8年度の予算案について協議が行われた。

この計画は、「しごと」「ひと」「つながり」の3本柱に沿って進められている。

2. 地域経済循環の現状と課題

資料に基づき、琴浦町の地域経済循環率の推移と分析が報告された。

（1）循環率の現状：最新の2022年データでは地域経済循環率は71%となっており、過去の調査と比較しても低下傾向にある。

（2）資金の流出：年間約190億円の資金が町外に流出しており、主な要因としてエネルギーコスト（光熱水費等）や建設事業の設備投資が挙げらる。

（3）所得の流入：一方で、町外へ働きに出ている住民が町内に持ち帰る所得は約149億円にのぼり、これは過去と比較しても良い数字である。

（4）今後の戦略：この町外から持ち帰った所得を、いかに町内での消費や投資に結びつけるかが、計画の大きな柱となっている。

3. 「しごと・ひと・つながり」に関する具体的取り組み

各項目について、以下の進捗と計画が示された。

（1）しごと（産業支援・事業承継）：

物価高騰や賃上げへの対応、DX推進の情報提供、販路拡大プロジェクト（4社の新規成約）などが実施された

令和8年度予算では、中小企業向けの「省エネエアコン・LED照明導入緊急支援補助金」を新設し、既存のスタートアップ補助金なども継続する。

深刻な課題である事業承継については、支援センターと連携した個別相談会を毎月開催する予定。金融機関からも、利子補給事業の継続や早期の意識付けに対する協力姿勢が示された。

（2）ひと（雇用・移住定住）：

労働局等と「雇用対策協定」を締結し、移住イベントでの職業紹介など、広範な連携を強化している。

小中学校での職場体験を通じ、地元への愛着を育む活動も進めている。

企業誘致については、労働力流出の抑制と町内活性化の観点から、前向きな検討を求める意見が出された。

(3) つながり（地域振興・観光）：

地域内循環を促す「バイ琴浦運動」（バスツアーや町ゼミ）を商工会と連携して継続している。

(4) その他

ワイナリー事業：令和 8 年秋頃の本格始動を目指しています。大規模観光ではなく個人客をターゲットとし、地元の乳製品や魚介類（サーモン等）と組み合わせたブランド化を検討している。

サイクルステーション：「日韓友好資料館」の一部を改修し、11 月末のオープンを予定している。これは「鳥取うみなみロード」がナショナルサイクリングルートに指定される動きに合わせたもので、レンタサイクルやカフェスペースを備え、観光と商工業を繋ぐ地域振興の拠点を目指す。

4. 委員からの提言と今後の課題

協議を通じて、以下の点に留意すべきとの意見があった。

(1) 安全性の確保：サイクルステーションの整備に伴い、旧道や通学路を走る自転車が増えることが予想されるため、児童の安全確保や注意喚起の徹底が必要。

(2) 住民への周知と連携：新しい事業（サイクルステーション等）について町民の認知度が低いという指摘があり、地域に定着させるためには町民の理解と協力が不可欠。

(3) 計画の可視化：多くの事業がある中で、優先順位の明確化や、進捗状況の評価（ABC 判定など）を整理して示すことで、より実効性の高い検討が可能になるとの提案。

検討委員会は、これらの意見を踏まえ、次年度以降も成果の検証と改善を継続していくこととしている。